

横浜市奈良地区センター 指定管理者事業計画書

申込年月日 令和 3年 6月 30日

団体名	公益社団法人 横浜市民施設協会		
代表者名	理事長 松澤 孝郎	設立年月日	平成22年 4月 7日
団体所在地	横浜市青葉区あざみ野2丁目9番地の22の302		
電話番号	045-482-9572	FAX番号	045-482-9573
沿革	<p>私達は、地区センター等の施設運営に関わってきた自治会・町内会の中心的メンバーが、発起人となって設立した社団法人です。</p> <p>地域に寄り添い、気軽に楽しんでいただける施設運営を通じ、地域のコミュニティの絆をさらに強いものにしていくため、なにより「心と心のふれあい」を大切にしています。</p> <p>掲げているスローガンは、「あつまる・つながる・笑顔になる」です。</p> <p>平成22年4月 「一般社団法人 青葉区区民利用施設協会」 設立</p> <p>指定管理者制度の導入を機に、「区民のための施設は地域の意思を尊重して運営したい」と、15の連合自治会と社会福祉協議会のメンバーが結集して設立しました。</p> <p>平成26年2月 「公益社団法人 横浜市民施設協会」 へ移行（名称変更）</p> <p>不特定多数の方々の便益の増進に貢献し、公益性の高い事業を継続するため、①文化芸術の振興 ②高齢者の福祉増進 ③児童青少年の健全育成 ④スポーツ等を通じた心身の健全な発達 ⑤地域社会の健全な発達 の5つの分野で公益認定を受けました。</p> <p>活動範囲を区内に限られることなく、市内で活躍する地域コミュニティ組織とも連携し、共に地域の支援・貢献を進めたいとの思いから「横浜市民」に名称変更を行いました。</p>		
業務内容	<p>地域との協働と区役所との連携を念頭に、公益認定を受けた5つの分野と当法人が掲げる次の7つの事業を相互に関係づけながら事業を展開しています。</p> <p>(1) 区民利用施設等の管理運営 (2) 文化・芸術・スポーツ等の講座やイベントなど自主事業の企画及び実施 (3) まちづくりの推進や青少年健全育成の推進 (4) 区民の自主的な活動の支援 (5) 地域活動推進に関する支援 (6) コミュニティハウス等での生涯学習支援 (7) 自治会・町内会等の事務的支援</p> <p>区民利用施設は、地域活動・地域交流、さらには地域防災の拠点としても、重要な役割を担っています。このため、理事長以下役職員は、施設の適切な管理運営はもとより、自治会・町内会をはじめとした地域の声を丁寧に生かした自主事業を行うため、日々研究し改善に努めています。</p> <p>また、地域が取組む独自の住民活動も地域コミュニティ醸成の重要な要素です。このため、地域活動への人的・経費的支援、事務支援等の役割も果たしています。</p>		
担当者連絡先	氏名	■■■■■■■■■■	所属 事務局
	電話	045-482-9572	FAX 045-482-9573
	E-mail	■■■■■■■■■■	

1 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

■ 業務概要

- 1 青葉区の地区センターなど10施設の指定管理者として、適切な施設の管理運営と施設の利用促進による地域住民のふれあいを図ります。
- 2 音楽・絵画・工作教室など文化芸術の振興、青少年の健全育成などの事業を企画し、地区センターや区民文化センターなどの身近な施設での開催を通じて市民・区民の芸術文化の振興をすすめています。
- 3 学校コミュニティハウスの管理では、常に学校長と連携をとって、地域の集いや学習活動の一翼を担っています。
- 4 屋外イベントや少年サッカー・少年野球に利用するスポーツ公園の管理も行います。
- 5 自治会町内会の会議の支援などを始め、民生委員、青少年指導員など地域の青少年・高齢者などを支える団体と協力し、地域社会の健全な発展に向け事業を行っています。



■ 経営方針

公益社団法人横浜市民施設協会は、地域で活動する団体および個人を社員として設立した団体です。

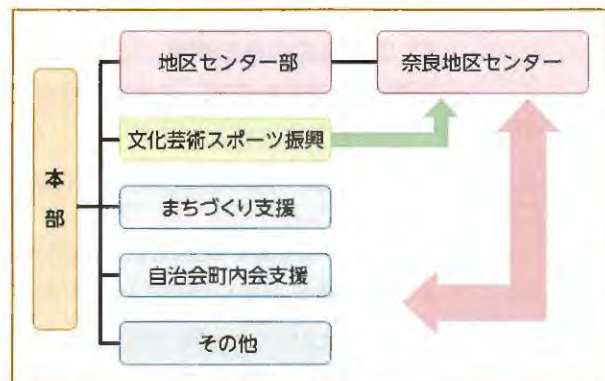
法人の事業目的の柱として、公共施設の管理運営、文化芸術の振興、自治会活動の支援、青少年の健全育成などを掲げ、快適な地域社会の健全な発達に寄与することを経営理念としています。

地域の抱える様々な課題に積極的に寄り添い、社会的信用を維持・向上するため、日々、工夫と改善を重ね、活動しています。

イ 応募団体の業務における奈良地区センター指定管理業務の位置づけ

奈良地区センターは、地域に開かれ、気軽に利用していただくことでコミュニティづくりの拠点としての役割を担います。また、子育て、青少年、高齢者などさまざまな対象に向けた自主事業を企画実施し、住民同士のつながりづくりや地域課題の解決に貢献していきます。

奈良地区センターは、青葉区の北西部に位置し、町田市や川崎市と隣接した地域にあります。市外への通勤・通学者が多いこともあり、地元への関心が薄くなりがちですが、当法人が運営する他の施設と連携・共同して地域に密接な事業を展開することにより、青葉区の特徴を活かしたサービスが提供できるものと考えています。



ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

当法人は、横浜市青葉区の下表17施設、合計で年間100万人を超える方々（平成30年度実績）にご利用いただいています。

管理運営している施設名	業務開始年月	業務区分
地区センター 4館 山内、若草台、美しが丘西、奈良	平成 7年 4月 他	指定管理
単館型コミュニティハウス 3館 青葉台、荏田西、荏田	平成11年 5月 他	指定管理
美しが丘公園こどもログハウス	平成 5年 4月	指定管理
新石川スポーツ会館*1	平成 7年 4月	指定管理
青葉区民文化センター（フィリアホール）	平成25年 4月	共同指定管理
学校併設型コミュニティハウス 6館 鴨志田、さつきが丘、山内、桂台、すすき野、みたけ台	平成 7年 4月	委託
青葉スポーツプラザ*2	平成26年12月	委託

*1 テニス、バドミントン、卓球等のスポーツができる施設

*2 少年野球、少年サッカー、ソフトボール等のスポーツができる屋外施設

2 奈良地区センター管理運営業務の基本方針について

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

地区センターは、市民活動・学習や発表の場としての身近な地域の拠点であり、区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」といった目標達成に向けた「誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」「さまざまな人や地域の活力を高めるまち」「特色を生かして魅力を高めるまち」などを実現する場でもあります。市民ニーズが多様化・個別化する中、自立的に展開する市民の活動をハード・ソフトの両面からサポートするとともに、地域特性を把握し、青葉区の高齢者・障がい者・子育て世代への支援や地域活性化対策等、様々な地域戦略の一端を担う役割を積極的に果たします。

・奈良地区センターは、地域活動や趣味の活動、様々な交流の場として、幼児から高齢の方々まで多くの皆様に、地域の「寄りどころ」としてご利用いただき、愛され、親しまれ、頼りにされる「拠りどころ」となっています。当館は、「奈良のよりどころ」として、施設運営を通して、青葉区の施策実現に貢献していきます。

イ 奈良地区センターを取り巻く地域特性、地域ニーズ

地域特性

- 1 町田市や川崎市と隣接し、青葉区でも緑が多く、自然豊かな地域であるが、周辺の公的施設は少ない
- 2 地元で古くから住む住民の多い地区と、新しく開発された比較的若い世代が多い地区との、新旧併せ持った地域
- 3 高齢者世帯が年々増加し、高齢化が進んでいる
- 4 子育て世帯は以前より減少しているが、共働き家庭は増加

地域ニーズ

- 1 令和元年度の区民意識調査によると、地域の図書館や学習の場、子どもの居場所が必要。
- 2 経験・能力を持った地域人材の活用、ボランティアの育成や多世代交流の場づくり
- 3 高齢者の交流や健康づくり、趣味の活動の支援、地域施設と一体となった見守り
- 4 「地域の子ども」という視点での子育て応援

運営への反映

◆地域交流の場を提供！&情報を発信！

- ・地域団体や近隣施設と協力して「交流サロン」を開設し、高齢者や住民同士の多世代交流の場を提供
- ・サークル活動の発表の場であり、地域の幅広い年齢層の方々の交流の場でもある「センターまつり」の開催
- ・館内掲示版や、センター便り、ホームページやツイッター、FMサークルス等を利用し、地域やサークルの情報、当館の自主事業等を地域に発信
- ・地域の専門的な経験や技術を持った方々にご協力

◆地域の居場所となる環境づくり！

- ・話題の図書、児童書や絵本などを充実させ、地域の読書活動を応援
- ・学習室や図書コーナー、飲食コーナー、プレイルーム等を、使いやすく快適な環境へ改善

◆高齢化社会への対応！

- ・シニア健康体操やヨガ、ストレッチなど、通年開催の講座等による高齢者の健康の維持・増進と仲間づくりの支援
- ・高齢者が参加、活躍できる場、生きがいづくりの場の提供
- ・地域施設と連携した高齢者の見守りを実施

◆地域の子どもたちの成長を応援！

- ・読み聞かせや、親子リトミックなど、親子、母親同士がふれあう機会を提供
- ・伝統文化やまちの歴史を学ぶ講座を開催することで、世代間交流や地域への関心を持つ機会を提供
- ・小学生向け料理講座の通年開催で、世代間交流の場を提供
- ・区や地域ケアプラザと協力し、子育て相談や育児教室、プレママの育児応援講座を定期的に開催

ウ 公の施設としての管理・個人情報保護等法令遵守体制について

■ 施設管理及び法令遵守の基本的対応

横浜市地区センター条例に基づき、地域の方々が気軽に気持ちよく、安全・安心に施設を利用していただけるよう、公平・公正で満足度の高いサービスを提供していきます。笑顔で明るく丁寧な対応に加えて、コンプライアンス・人権の尊重に努め、地域ニーズに的確に対応した良質なサービスや事業を進めていきます。個人情報保護等法令遵守の取組については、横浜市民施設協会として「倫理規程」「個人情報保護規程」「公益通報者保護規程」「コンプライアンス規程」等を定め、法令遵守及び不正行為の未然防止・早期発見と是正に努めています。

■ 個人情報保護の体制及び取組

個人情報の保護に関する法律等に基づき、横浜市民施設協会が「個人情報保護規程」を制定するとともに、法人として個人情報の適切な管理運用を行うため、事務局長を「個人情報保護総括責任者」とし、各施設の館長を「個人情報保護運営責任者」に任命しています。具体的な事例に基づく検討や話し合いにより、個人情報保護の重要性について意識を高めるとともに、「奈良地区センター個人情報保護マニュアル」により、個人情報の適正な取扱いの徹底を図っています。

また、「個人情報取扱特記事項」第12条1項に基づき、「横浜市個人情報に関する条例」等の内容を十分理解できるよう、全職員を対象に、個人情報保護に関する研修を毎年必修で行っています。

3 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

■ 職員の人員体制

館長以下常勤職員3名と、午前・午後・夜間の各班2名が隔週交代で勤務するコミュニティスタッフ (12名)、クリーンスタッフ (2名) による、安定的かつ効率的な組織体制とします。館長以下常勤職員は、早番 (8:40~16:40)、遅番 (13:10~21:10) のローテーション。コミュニティスタッフは隔週ローテーションで、午前 (8:45~12:55)、午後 (12:50~17:00)、夜間 (16:55~21:05) のそれぞれ2名体制で、クリーンスタッフは1名体制 (8:20~11:30) となります。また、第2火曜日は施設の点検・清掃のため休館としますが、この機会を利用して普段一堂に会することが難しい全職員による全体ミーティングを開催し、情報の共有、スケジュールの確認、研修等を行います。

	午前 (8時45分~12時55分)	午後 (12時50分~17時)	夜間 (16時55分~21時05分)
平日 (月~土曜日)	館長又は常勤職員 (早番1人、遅番1人)		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名	夜間 スタッフ2名
日・祝日	館長又は常勤職員 (1名~2名)		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名 日・祝日は18時閉館 (夏季)	

職種	人	業務内容
館長 (常勤)	1	運営管理の総括責任者、地元・関係機関との調整、人材育成、日常業務
常勤職員	2	館長補助、庶務、小口現金・利用料金管理、自主事業、図書管理
コミュニティスタッフ (時給職員)	12	窓口対応、施設の点検等日常業務、自主事業の補助、図書貸出等
クリーンスタッフ (時給職員)	2	館内の清掃、施設の点検

■ 奈良地区センターの人員体制の理由

増加する利用者数・多様化する利用者ニーズに対応し地域や利用者との信頼関係を構築!

- ・今後ますます増大かつ多様化する利用者ニーズへの的確な対応、より良いサービスの提供、利用者の安全性の確保等を考慮し、無駄を省いた最大限の効果を発揮できる体制としました。
- ・業務内容の改善やIT等の活用により、人材の効率化、省力化を図り、さらなるサービスの向上に努めます。
- ・地域の会議、行事、イベントには職員が必ず参加するなど、積極的に地域へ出向き、地域との信頼関係を構築していきます。

■ 協会全体による万全な支援

- ・横浜市民施設協会が管理運営している様々な施設のノウハウを館長会議やリモート会議などを活用して、迅速に質の高いサービスを提供します。
- ・退職等で欠員が生じた場合には、適材適所の人材を迅速に補充するなどの柔軟な対応を取ります。
- ・各々の職員が持つ知識や技術を効果的に活用し、利用者満足度の向上や、職員の一層の資質向上に努めます。

3 組織体制

イ 職員研修計画

■ 職員育成の基本的な考え方

- 1 奈良地区センターを、誰もが、気軽に気持ち良く利用していただくと同時に、引き続き利用したいと思っていただけるような公平・公正で良質のサービスを提供することが施設運営の基本と考えています。そのためには、すべての職員が、「利用者に好感を持っていただける接遇」と「施設運営にあたっての基礎的な業務知識と技能」を有することが不可欠です。

様々な機会を捉えて計画的に研修を実施し、施設内で迅速かつ的確に共有できるよう取り組んでいきます。

- 2 青葉区政運営方針も基本目標「住みつづきたい・住みたいまち 青葉の実現」に向け「人と地域のつながりづくりの推進」に取り組み地域活動の活性化を図ることがあげられています。市民ニーズが多様化、複雑化する中で、地区センターが地域の活動拠点として「地域のコミュニティづくり支援」といった役割を担っていくためには、設置目的を正しく理解し実践していくことが益々重要になります。施設協会として、研修や自己啓発の環境を整備し、職員の育成に取り組んでいきます。

■ 職員の育成・研修

1 職場内教育 (OJT)

- (1) 接遇研修 (年1回) ……外部講師を招き接客の実践的スキルを磨く
- (2) 接遇研修 (随時) ……法人独自の「接遇ハンドブック」を反復習得、「サービス接遇検定資格」の活用
- (3) 人権啓発研修 (年1回) ……市職員などを講師に招き事例検討を交えて実施
- (4) 個人情報保護研修 (年1回) ……事例検討と討議により実践的に学習
- (5) 防災訓練、AED取扱研修、防災設備研修 (年2回以上) ……消防職員や専門業者を講師として実施
- (6) 地域コーディネーターの養成研修

2 職場外教育 (OFF-JT)

- (1) 新入職員教育 (採用時) ……接遇研修、職務基礎教育等
- (2) 管理者教育 (年1回) ……管理者の知識・マネジメント研修等
- (3) 職務研修 (年1回) ……労務・経理研修、企画研修等
- (4) 安全衛生教育 (年1回) ……衛生管理者を中心に計画的に実施
- (5) 他施設見学 (随時)
- (6) 図書を選定・展示方法の研修……山内図書館等の協力により実施
- (7) 認知症サポーター研修……職員全員が必須受講
- (8) 地域コーディネーター養成研修……職場内研修にフィードバック

3 自己啓発助成 (随時)

資格取得、通信教育、セミナー参加等、自己啓発に対する費用を助成

※自己啓発研修にかかる費用の助成 (令和2年度実績)

簿記2級 (1名)、衛生管理者 (1名)、メンタルヘルスマネジメントⅡ種 (3名)、公益法人会計検定試験3級 (2名)

4 その他

職員個々の知識・技能を把握し、職員が自主事業の講師を務めたり、自主事業の企画に生かしたりして、人材育成を図ります。



●奈良地区センターにおける職員研修の実施計画 …毎月休館日にスタッフミーティングと職員研修を実施

実施時期	研修テーマ	実施時期	研修テーマ
4月	接遇研修	9月	防災危機取扱い訓練
5月	個人情報保護研修	10月	災害時避難誘導訓練
6月	AED操作方法と救命行動訓練	12月	人権研修
7月	認知症サポーター養成講座	2月	被災時避難訓練
8月	他施設見学研修		消火器取り扱い研修

3 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

■ 地域と連携した防災への取組 ～ 共助活動の支援拠点として

- ・当館は、青葉区防災計画上の位置づけは特にされていませんが、大規模災害時に地域の皆さまや帰宅困難者が一時的に立ち寄ることも考えられます。**区役所と連携**しながら求められる役割を担うと同時に、飲料水やトイレの利用など、利用可能なサービスを積極的に提供します。連合町内会長が理事・社員になっている当法人の特性から、**地域の主体的な活動**も活かしていきます。
- ・いざという時に有効に機能が果たせるよう、避難所防災訓練に積極的に参加・協力していきます。
- ・自動販売機は、災害時の停電中でも無料で取り出すことが可能な機能を備えたものを設置しています。

■ 緊急時（災害、事故、事件、故障）の対応計画

事故の未然防止や発災時に迅速で適切な対応を取るためには、日頃の備えとしての日常点検や必要なマニュアルの整備、また、スタッフミーティング時での確認、さらには関係機関と連携した訓練を重ねることが重要です。「いざ」という時に職員・スタッフ一人ひとりが自己の判断で迅速・的確に対応できるよう、次により取り組みます。

1 「緊急時連絡網」の整備

緊急時に、館と法人事務局をはじめ青葉区・警察・消防等関係機関を含めた連絡が取れるよう、緊急連絡リスト及び対処方法を図示した資料を作成し、事務室内に掲示するほか、各人が携帯し、毎月の全体ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

2 「緊急時対応マニュアル」の整備

緊急時は、まず「利用者」、次に「職員」の安全を確保し、さらに近隣の安全を考慮するという方針のもと、下の緊急時の対応フロー図内、「危機管理対策の基本方針」の項目毎に施設で状況に応じた緊急時対応マニュアルや消防計画を作成しており、毎月の全体ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

3 遅滞なく報告・相談

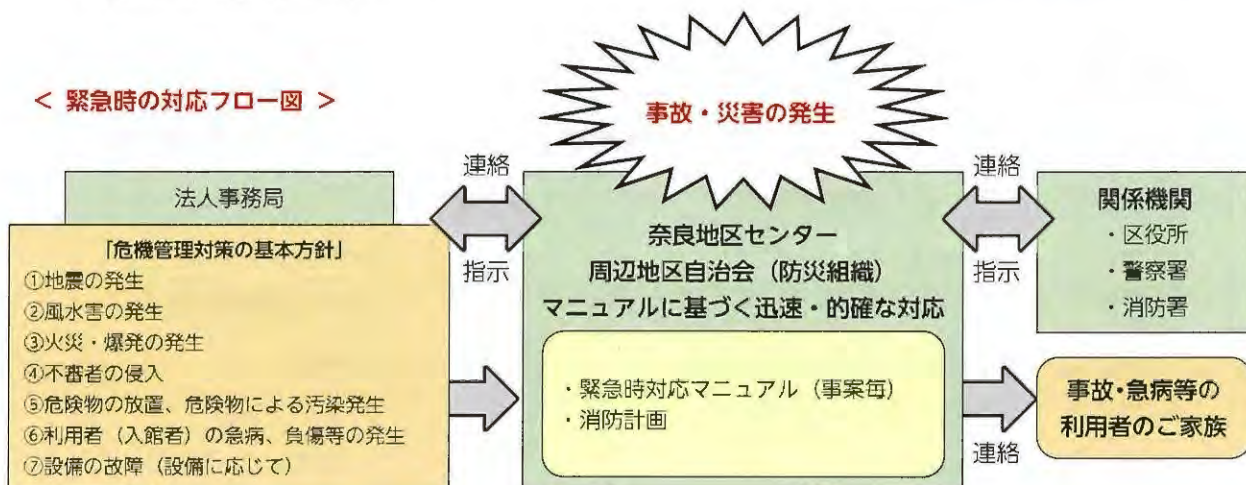
- ・施設内での事故や急病人が発生した場合は、直ちに館から「事故連絡票」を使用して法人事務局及び青葉区担当課へ報告します。必要な対応は、館と法人事務局で相談の上、青葉区役所と協議します。
- ・館の利用に重大な影響が予想される事故等が発生した場合は、区との協議と並行し、利用者への連絡とともに、協会理事長や施設委員会の代表者に連絡をとり、今後の地域への対応について相談します。

4 予防対策

- ・発災時の消火訓練・通報訓練・避難訓練等、緊急時を想定した訓練を、奈良消防出張所の協力を得て実施しています。
- ・防犯カメラでの監視や館内外の見回りを適時実施することにより、犯罪等の未然防止を図り、いざという時のために防犯ブザーも設置しています。
- ・緊急事態に備えAEDを常備し、定期的に取り扱い研修を行っています。
- ・運営実績の中で積み上げてきた「事故事例集」を職場研修等で活用し、事故の未然防止に努めます。



< 緊急時の対応フロー図 >



4 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

当施設は、「地域住民が自主的に活動し、相互交流を深める場」であるという条例の趣旨に沿い、「あつまる・つながる・笑顔になる」施設運営を進めます。そして、青葉区区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」に向け、地域の活動団体等との連携により「地域コミュニティの醸成」、「地域の連携強化」に貢献できる、有意義で身近な場づくりを目指します。

地域のよりどころとして！

①地域活動の支援

自治会や地域団体の催しや会合など、地域が自主的にを行っている活動や、地域イベントの情報発信を支援

②健康・生きがい・仲間づくりの支援

地域の誰もが気軽に集い、子育て、学習、趣味、健康や生きがいづくりができる場や、仲間づくりの輪を拡げる場を提供・支援

③地域交流の場の提供

「交流サロン」や「センターまつり」等の開催で、シニア世代の交流、新旧住民の触れ合いなど、住民誰もが気軽に参加できる多世代交流の場を提供

④ボランティア活動（人材発掘・育成）の支援

地域の皆様のご協力を得て、施設の大掃除や修繕、花壇の手入れや自主事業等を行い、地域の専門的な経験や技術を持った方々が活躍できる場を提供

地域とのつながりを大切に！

①青葉区6大学や学校との連携

大学生と地域の子どもたちがイベントやスポーツを通して触れ合う機会を提供

また近隣中学校の職場体験や小学校のクラブ活動に協力

②地域の施設・団体との連携

奈良社協やケアプラザとの協働で行う「交流サロン」の開催。また地域包括支援センターとの連携で、高齢者の見守りを実施（見守りファイルの活用）

③地域自治会との連携

地域自治会の協力で、センター便りを毎月 回覧・掲示していただき、施設の情報を地域に発信

④地域商店会との連携

奈良北商店会と協力した、「ハロウィン」等のスタンプラリーイベントの開催

地域の誰もが気軽に集う 寄りどころ 地域の皆様の心の 拠りどころ
奈良地区センターは「奈良のよりどころ」を目指します！

イ 利用促進策

部屋予約についての改善

- **Web予約システムの導入で利便性がアップ**
新たにWeb予約システムを導入し、お客様がパソコンやスマホから直接予約ができるようになりました。今後は利用料金のキャッシュレス化も検討していきます。
- **キャンセル情報の迅速な提供**
体育室などの人気の高い部屋が急にキャンセルになった場合は、直ちにツイッターでお知らせします。
- **利用時間&予約方法の見直し**
利用者の皆様の意見を参考に、夏季の日曜・祝日の利用時間の延長や、1週間枠の個人利用も実施します。

魅力あるイベント・自主事業の開催

- **地域ニーズに対応した自主事業**
健康づくりや介護問題など、地域社会で課題となるテーマを先取りした事業化や、講座参加者の意見を参考に、地域の皆様のニーズを把握し企画・実施します。コロナ禍においては、心の癒しとなるコンサートや講座を、動画でも提供していきます。
- **地域とつくりあげるイベント**
地域の魅力を引き出し、地域の皆様と一体となった地区センターまつりを開催します。
- **広報活動** 自治会回覧、HP、広報紙、ツイッター、FMサークル等を活用して積極的に広報し、またテレワークが増え、自宅にいる時間が増えた方々の利用も促していきます。

空き室の利用促進

- **空室の多い時間帯の活用**
部屋利用が比較的少ない時間帯や、稼働率の低い部屋を利用した自主事業を企画・実施します。
- **当日や1週間枠利用の広報**
個人や1時間単位での利用ができることを、積極的にPRします。
- **備品の充実**
和室にテーブルや椅子を備える等、利用促進の工夫をします。
- **料理室の材料前日搬入サービス**
稼働率の低い料理室は、利用日前日の食材等の搬入を当日、利用がなければ許可していきます。

居心地のよい空間づくり

- **笑顔の対応・清潔な施設**
お客様を笑顔で温かくお迎えします。気持ちよくご利用いただくために清掃や感染症対策を徹底し、季節感のある施設空間を創ります。
- **プレイルームや飲食コーナー等の整備**
プレイルームに幼児飛び出し防止用のカギ取付け、飲食コーナーにはテーブルやベビーチェアを増設。ロビーには大型モニターを備え、パブリックビューイングで皆様にご覧いただけます。
- **館内でのパンやコーヒー等の販売**
障がい者福祉施設のパンやコーヒー等の販売を行っていきます。

図書利用の推進

- **ニーズに応じた選書の工夫**
利用者ニーズを把握し、人気の高い本、多くの方に読まれる本を中心に購入します。
- **図書情報の掲示**
市立図書館の情報や、お勤め本、新刊本の情報を毎月掲示し、読書意欲を高めます。
- **スタンプカードの実施**
図書のスタンプカードを発行して楽しく読書ができる工夫をし、貸出促進につなげます。

4 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

■ 基本的な考え方

- ・ 現行の利用料金は平成17年7月から実施され、利用者に広く周知・定着しているため、今後もこの現行料金を継続していきます。

■ 【奈良地区センターの利用料金表】

室名	1コマ料金 (3時間)	2時間料金	1時間料金	備考
小会議室	510円	340円	170円	
中会議室	960円	640円	320円	
工芸室	750円	500円	250円	
料理室		620円	310円	1コマは2時間単位
音楽室	750円	500円	250円	
和室	810円 1/2面 390円	540円 1/2面 260円	270円 1/2面 130円	
体育室	1,950円 1/3面 630円 2/3面 1,290円	1,300円 1/3面 420円 2/3面 860円	650円 1/3面 210円 2/3面 430円	体育室は 4名以上で利用

■ 部屋の使い方からの利用率の向上について

1 利用者ニーズに柔軟に対応した予約方法（個人利用の拡充）

1週間枠利用

予約状況にかかわらず何回でも！

- ・ 申込日を含む7日間は、部屋、利用時間帯、回数に制限なく、何回でもご利用になれます。

団体だけでなく個人にも！

- ・ 申込日を含む7日間は、団体だけでなく、個人（1名様）でもご利用になれるようにします。

当日利用

当日は1時間単位でも！

- ・ 当日の空き室の利用については、団体でも個人（1名様）でも1時間単位でご利用になれます。
(利用日前日の閉館3時間前からご予約が可能です。)

2 各部屋の備品の整備

利用者の皆様のご意見を踏まえ、利用者ニーズにあった設備・備品の充実に努めます。

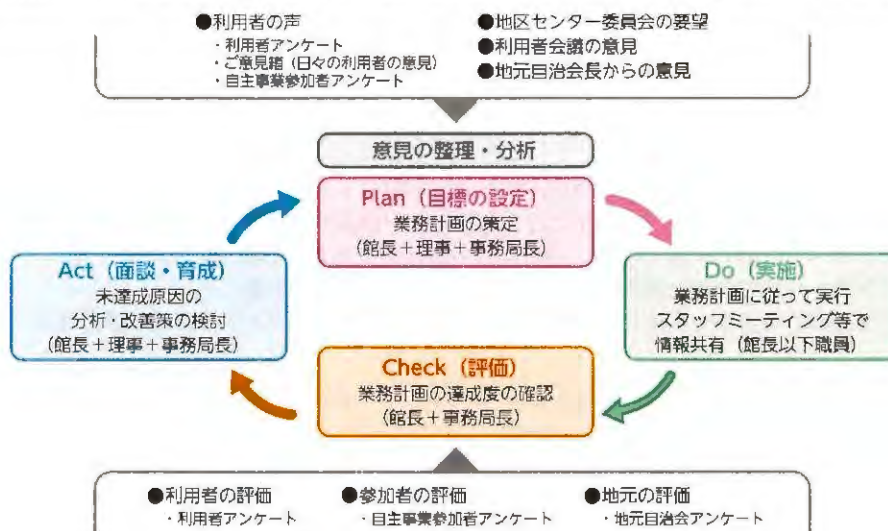
- ◎工芸室に大型ミラーの設置
- ◎和室にテーブルと椅子を追加
- ◎体育室に得点版の追加 等

4 施設の運営計画

エ 利用者等ニーズの把握と運営への反映

PDCAサイクルを意識した施設運営

地区センター委員会や利用者会議、利用者の声、地元自治会長からの意見を反映した施設運営を行っていきます。



オ 利用者サービス向上の取組

■ Web予約システムやWi-Fiの導入 (インターネット環境の整備)、オンライン講座等

- ・以前は、2か月前の部屋予約のエントリーしかWebでできませんでしたが、抽選結果後は、お客様自身で直接パソコンやスマホから部屋予約ができるようになりました。
- ・ホームページを刷新し、誰もが支障なく利用できるWebアクセシビリティ対応を取り入れ、自主事業もパソコンやスマホからWeb申し込みができるよう準備をしていきます。
- ・会議室等に無料のWi-Fiサービスを提供できる環境整備を進めます。
- ・ツイッターを利用した迅速な情報発信や、ご家庭で参加できるオンライン講座や動画配信も行います。

■ お客様の感動 (CD 顧客感動) につながる対応への取組

- ・お客様にご満足頂くだけでなく、感動につながるような対応ができるよう、法人オリジナルの「接遇ハンドブック」による研修を繰り返し行い、日々職員のスキルアップを図っています。多様な方々と向き合う心と行動を学ぶため、全職員が認知症サポーター養成講座を受講します。また、地域のコンシェルジュとしてきめ細やかな対応ができるよう、地域情報収集にも努めています。

■ 様々なサービスの取組

- ・利用者からの要望により、夏季の休日の閉館時間を1時間延長し、18時までとしています。
- ・当日利用だけでなく、1週間枠の部屋利用でも個人 (1名様) の利用ができるようにしていきます。
- ・キャンセルによる空き室状況などの情報を、ツイッターで一早くお知らせしています。
- ・ロビーに大型モニターを設置しパブリックビューイングとして来館の皆様楽しんでいただけるようにします。
- ・地域の高齢化に伴い、施設の和式トイレを洋式トイレに交換し、温水洗浄便座への交換も進めていきます。
- ・施設内に非接触型の検温消毒器を多数配置し、感染症対策に努め、安心・安全な環境を提供します。
- ・近隣に飲食店等が少ないため、館内で障がい者福祉施設のパンやコーヒー等の販売を行っていきます。

カ ニーズ対応費の使途について

- ・施設利用料金収入の3分の1を目安に、ニーズ対応費として毎年予算に計上し、快適に施設を利用していただくための経費として、お客様に還元しています。
- ・使途については、お客様からご意見・ご要望をいただいた備品・消耗品の購入、部屋の修繕、照明のLED化、図書の購入などや、世代を超えた地域交流の場である地区センターまつり開催の経費に充てています。

4 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

■ 「健康横浜 21」の取組

- ・健康づくりの各種講座開催 ～シニア健康体操、エアロビクス、ストレッチ、ヨガ、フラダンス など
- ・野菜ソムリエによる旬の野菜を取り入れた料理講座を定期的に開催し、健康を増進する食生活を推進
- ・成長期の子どもの運動と身体の関係性をテーマとした、子どもの健康管理についての講座を開催
- ・ピンクリボン運動の取組 ～乳がん早期発見のためのパネル展示や講演を開催
- ・ノルディックウォーキング講座の開催や、「よこはまウォーキングポイント」リーダーの設置



■ 子育て支援の取組

- ・親子や小学生が参加できる事業（絵本の読み聞かせ、親子リトミック、卓球教室など）の開催
- ・地域の孤食を減らす取組として、小学生向けのおやつ作り講座を毎月開催
- ・福祉保健センター主催の「子育て相談」（週1回）、「地域育児教室」（月1回）の開催に協力
- ・福祉保健センターや地域施設と連携し、プレママの育児応援講座を計画
- ・小さなお子様連れのお客様も利用しやすいように、飲食コーナーにベビーチェア4脚を設置



■ 障がい者支援・人権尊重の取組

- ・近隣障がい者福祉施設のパンや、作品を毎年センターまつりで販売
- ・全職員が毎年認知症サポーター養成講座を受講し、地域施設と連携した高齢者の見守りを実施
- ・ユニバーサルマナー検定受講者による職場研修実施
- ・人権尊重は接遇の基本であり、日頃から人権感覚を磨くことの大切さを、接遇研修や職場研修の中で徹底

■ 青葉区内大学や学校との連携

- ・青葉区6大学と連携し、スポーツや競技かるたを通し地域の大学生と小中学生の交流を深める機会を提供
また、大学の教授に自主事業の講師を依頼し、大学の広報だけでなく地域住民との交流を図る機会を提供
- ・近隣の小中学校との連携
 - ◎奈良小学校卓球クラブの練習会場として、体育室卓球台を開放し、子どもたちのクラブ活動を応援
 - ◎奈良中学校美術部の生徒の作品を、定期的に館内に掲示
 - ◎奈良中学校、あかね台中学校の職場体験を、中学生の受け入れ場所として支援

■ 読書活動の推進の取組

- ・選書や掲示の工夫で、図書コーナーを充実
 - ・図書スタンプカードの作成で読書意欲を向上
 - ・読み聞かせや、大人向けの語りの場を提供し、読書活動推進の担い手を支援
 - ・あおばりユース文庫の活用
- 以上の取組により、**第二次横浜市民読書活動推進計画**を応援



■ ガーデンネックレスの取組

- ・青葉区制25周年記念事業として、地域のボランティアの方々と一緒に花壇を作成し、草花の手入れを定期的実施



■ 地域経済の活性化

- ・修繕などの発注や物品・役務の調達にあたっては、地域振興の観点からも、地元を中心とした市内中小企業に優先発注
- ・奈良北商店会と連携し、ハロウィンスタンプラリーのイベントなどを開催し、商店会の活動を支援

■ 文化振興の取組

- ・地域の伝統文化、住吉神社奈良囃子連の「お囃子」「獅子舞」など、施設のイベントとして発表の場を提供
- ・「横浜マイスター」「ふるさとの生活技術指導士」など専門的な技術を持った方々を、事業の講師として依頼



■ 環境への配慮

- ・インクカートリッジ回収里帰りプロジェクトの取組
- ・マイボトルスポットの取組
- ・照明のLED化の計画的な取組
- ・緑のカーテンの取組

■ 情報公開の取組

- ・ホームページで個人情報保護基本方針など、基本的な情報を公開し、センター委員会や利用者会議の議事録概要、ご意見箱の声に対する回答などを館内において公表
- ・事業計画、事業報告などは、最新情報を閲覧できるように館内に常備

5 自主事業計画

奈良地区センターでは、**地域とのつながり** **地域ニーズ** を大切に考え

積極的に地域の施設・団体・人とつながり、お互いの得意とする分野で協力し合い地域貢献に取り組みます。また、アンケートなどお客様・地域の声に耳を傾け、常に地域のニーズを把握するとともに、時代や社会に即応した事業展開ができるよう努力します。

以下の **6つの目的** を柱とした **幅広い世代を対象とした多彩な自主事業** を展開していきます。

① 地域との連携&協働



・地域との連携事業

地域交流サロン「奈良でちゃちゃ」は奈良地区社協、奈良地域ケアプラザと当館の共同事業。一人暮らしの高齢者からの、交流の場が欲しいとの要望で生まれた、地域の居場所づくりの大切な事業です。

また、横浜市スポーツ協会と連携したさわやかスポーツデー、フィリアホールと連携したファミリーコンサートも開催。

・奈良北商店会とのコラボ事業

近隣商店会や近隣自治会・施設と連携し、ハロウィンスタンプラリーなど季節行事の事業を開催。



・区内6大学との連携事業

区内にある6大学は行政との連携を進めており、当館では競技かるた体験会等の事業で大学生を講師に招くことにより、学生と地域をつなぎ、相互理解を深めます。

② 地域の居場所・仲間づくり

・健康・生きがいづくり（趣味・教養）

地域のニーズに合わせて行う心と身体の健康づくりや、人生を豊かにする趣味や生きがいづくり、仲間づくりを支援する事業です。



・生涯学習

有意義な人生を送るための自己能力の向上や、安心した暮らしを守るための知識・情報を提供する事業。

・地域交流サロン「奈良でちゃちゃ」

地域の誰もが参加でき、お喋りを楽しむ月1回の交流会。

③ 地域の異世代交流の場を提供

・センターまつり

サークル活動の発表の場として、多くのサークルが参加するセンターまつりは、幅広い年齢の方々にお楽しみいただいております。地域交流の場としての役割も果たしています。

・コンサート

地域の方が気軽に参加でき、年代を問わず多くの方に様々な音楽をお楽しみいただいています。



④ 地域の人材活用 発掘&育成

・地域の方々に講師・ボランティアを依頼

地域の「ふるさとの生活技術指導士」など様々な技術や特技を持っている方々に料理講座等の事業の講師を依頼しています。また男性料理サークルに子ども料理講座のボランティアを依頼したり、花壇作成事業では、地域の草花に造詣の深い方々にボランティアをお願いしたりしています。そこから、異世代交流や地域交流も生まれます。

・娯楽コーナーでのミニコンサート

地域の方が気軽に開催・参加でき、サークルや個人の発表の場、地域交流の場を提供します。



・地域デビューのための事業

地域に貢献できるようなきっかけづくりとなる事業を企画し、地域ボランティアとしての活動ができるよう支援します。

⑤ 地域の子どもの成長を応援



・子育て支援事業

地域の子育て中の親子やプレママを支援。親子で参加でき、仲間づくりや情報交換の場を提供する事業。

・わんぱくホリデー事業

主に小学生を対象とした、好奇心や自立心を育む体験の場となるような事業。おやつ作りのはらぺこクラブでは、共働き家庭の多い現代において、同じものを皆で食べる共食の楽しさ、喜びも味わえるようにしています。

⑥ 地域の伝統&歴史を伝える



・伝統芸能

伝統芸能を子ども達に伝えていくことは大切なことです。地域のお囃子や獅子舞に触れ、和太鼓体験などの伝統楽器を体験することは、異世代間交流にもつながります。

・寺子屋奈良

地域の昔を知っている方々に講師になっていただき、地域の子どものために、奈良の歴史や、様々なことを伝えていただきます。地域の未来を担う子ども達にとって、奈良の町の歴史を学ぶこの事業は、とても貴重な体験です。

地域の活動拠点 **「奈良のよりどころ」** としての役割を果たしていきます！

6つの柱に、この3つの取組をプラスします！

◆施設協会コラボ（複数館共同事業）

複数施設を管理運営している当協会ならではのスケールメリットを活かした事業。当協会の複数施設の共同開催で、「青葉歴史探訪」や「ピンクリボン活動（パネル展示）」などの様々な事業を、順番に区内の各施設を拠点とし、展開していきます。多くの皆様に各施設を知っていただくきっかけとなる重要な事業の1つです。

◆稼働率アップの取組

部屋の稼働率の低い時間帯を把握し、空き室を有効活用できるような自主事業を実施します。特に、利用の少ない料理室や、午後②の時間帯を活用した自主事業を展開し稼働率アップにつなげます。自主事業から新しいサークルを育成・支援することも常に視野に入れ、自治会の地域回覧などでも積極的に自主事業のPRをし、新規利用者を開拓していきます。

◆コロナ禍における取組

コンサートや講座の動画配信、またオンライン講座にも取り組んでいきます。

6 施設及び設備の維持管理計画

■ 基本的な考え方

- ・職員による日常の点検・清掃と地域サポーターによる植栽・修繕、専門業者による定期点検・保守により、お客様や職員が安全・安心に、清潔・快適に利用できる施設となるよう、維持管理を進めていきます。
- ・故障や事故発生時は「事故連絡票」を活用して事務局や区役所と連携を図りながら、迅速に対応します。
- ・市民施設協会として、各施設における施設・設備の修繕の必要性や緊急度を見極めた中期修繕計画・保全計画を作成し、スケールメリットも生かして財源の確保に努めます。
- ・各施設では、日頃の点検・保守の結果に基づいた早目の修繕を行うなど、施設及び設備の長寿命化を図っていきます。日常点検で気づいた不具合については、具体的な内容や写真により記録を残します。

■ 職員による日常点検・巡視、清掃

- ・日常業務の一環として、「施設維持保全の手引き」等に基づき、日常点検・巡視を毎日行っています。
- ・建物内や周辺に不具合が無いか常に確認し、早めの発見と対応を目指します。
- ・お客様が利用されて気付いた点を気軽にご連絡いただけるように、ご意見箱をロビーに設置しています。また、部屋利用報告書にもご意見欄を設け、利用終了後も職員から「施設・備品等に何か不具合等はありませんでしたか。」と必ず声がけを行い、お客様の声を伺う機会を増やすことにより一層の情報収集に努め、不具合箇所の早期発見につなげていきます。
- ・冷暖房の適切な温度設定について、ご利用の皆様の理解と協力をいただくとともに、空室等の消灯の徹底など日常管理での省エネルギー対策を進めます。

■ 地域サポーターによる清掃・修繕

地域のスキルを持った方々に協力をいただき、植栽や修繕等を実施します。

■ 専門業者による定期的な点検・保守、清掃の委託

- ・機械警備・空調機保守・建物全般、清掃等、それぞれの分野について、専門性の高い事業者を適切に選定し、その事業者との連携を密にして、年間の維持管理計画に基づいて実施していきます。
- ・同規模、同設備の施設との比較により、価格や維持管理計画が適正かどうかを見極めていきます。
- ・業種によっては、法人管理施設をまとめて契約することにより、大幅なコストダウンを目指します。

管理項目		内 容	回 数	実 施 者
建物	機械警備装置	点検・保守	随時	事業者
	空調設備	点検・保守	年7回	事業者
	建物設備	建築基準法第12条点検	年1回	事業者（市による）
	室内	清掃、ワックス掛け等	月1回	事業者
植栽	剪定等（主に高木）	剪定・消毒	年2回	事業者

■ 館内の清掃

- ・毎日、クリーンスタッフが廊下やトイレなどの共用部分の清掃を行うとともに、職員・スタッフが日常的に館内外の清掃や消毒に努め、清潔できれいな環境を提供します。
- ・毎月の休館日には、専門業者に委託して全館清掃を行い、日常清掃では対応できない部分を含めて計画的に実施します。

■ 修繕

- ・必要な修繕は、複数業者から見積を取り、ヒアリングを行うなど、適切な業者選定に努めます。
- ・大規模な修繕が必要な場合は、区役所・建築局に早めに相談をして適切な対応が取れるよう取り組みます。

■ 経費削減の取組

- ・小破修繕や低木の剪定や植栽の手入れは、可能な限り職員が行うことで、経費削減に努めます。
- ・館独自の「省エネ指針」を作成し、地球温暖化対策に取り組むとともに、経費削減に努めます。

7 収支計画（収入計画）

ア 収入計画の考え方について

- 1 収入については、① 横浜市からの指定管理料、② 利用料金収入、③ 自主事業収入、④ 雑収入、を合算し、運営に充てていきます。
- 2 当法人は、公益法人として健全で安定的な運営が継続できるよう収入の確保に取り組みます。
 - 1 指定管理料
青葉区役所との協定に基づき、適切に管理するとともに、年に4回運営状況を報告します。
 - 2 利用料金収入
インターネットによる部屋予約システムの改善と、利用者ニーズに柔軟に対応した予約方法への変更、また、稼働率の低い時間帯での自主事業の開催やサークル化を進めることで、部屋利用料金を増やします。
 - 3 自主事業収入
原則として、材料費や講師謝金の経費に見合う金額を参加者負担として徴収します。自主事業全体の中で収支の均衡を図ります。仮にそれがプラスになる場合は、利用者に還元していきます。
 - 4 雑収入（自動販売機手数料、印刷代金など）
災害時に非常飲料として活用できる自動販売機を設置し、その手数料を館の収入とします。また、地域の皆様の利便性を高めるために設置する印刷機やコピー機については実費相当を徴収します。
- 3 寄附金収入
公益法人としての存在を広くPRするとともに、寄附者に対する優遇税制を活かし、法人の活動内容等を支援してくださる方々からの寄附を募り、施設の管理運営を含む法人活動に役立てていきます。
- 4 新型コロナ禍のような予期せぬ事象が起きた時には、雇用調整助成金をはじめとする助成や制度を積極的に活用し、資金確保に努めます。

イ 増収策について

■ 部屋の稼働率アップ

- 1 Web（インターネット）予約システムの導入
直接パソコンやスマホから部屋予約が可能になり利便性が大幅にアップし、稼働率アップが期待されます。
- 2 空室を活用した自主事業の実施
部屋利用の少ない時間帯を活用して、自主事業を企画・実施しサークル化を目指します。
- 3 当日利用・1週間枠利用の促進
当日利用は団体に限らず個人でも1時間単位の利用が可能です。それに加え新たに1週間枠利用でも個人の利用を可能にし、広くPRしていきます。

■ 「寄附のお願い」の取組

横浜市民施設協会は、寄附をした個人や法人に対する税制優遇措置が受けられる団体として公益法人の認定を受けています。公益法人は、会費と寄附も重要な収入源です。「寄附へのお願い」を、広くホームページやチラシなどで個人や法人にPRしていきます。

■ 収入計画の積算根拠

収入項目	予算額（千円）	積算根拠
利用料収入	3,442	令和3年度予算
自主事業収入	2,392	同上
自動販売機手数料	695	同上
印刷代等	132	同上
合計	6,661	

7 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

■ 基本的な考え方（特徴・独自性・実現性）

- 1 サービスの維持・向上を基本に、必要な経費を確保したうえで、経費の節減を進めます。
- 2 多数の施設を管理運営するスケールメリットを活かして健全で安定的な運営が継続できるよう取り組みます。
- 3 事務局に専務理事、事務局次長等を新たに配置し、経費のチェック体制を強化し、無駄な経費を抑制します。
- 4 業務改善を進め、効率的な事務執行により、コストの削減を図ります。

■ 経費削減の取組

1 共通物品の在庫管理の徹底

コピー用紙等の全館共通物品については、複数館を管理しているスケールメリットを活かして在庫管理を徹底し、経費を抑えます。

併せて、感染症対策にかかる衛生用品についても在庫管理の徹底により経費削減に努めます。

2 委託業者の適切な選定

- ・当法人は、地域の中立的な公益法人であることから、同じグループ会社にメンテナンスを全て委託することはありません。
- ・委託業者の選定にあたっては、複数の事業者を対象に価格や業務内容についてヒアリングを行い、経費の削減を含め適切な選定に努めています。

3 事務経費の抑制

事務経費（事務局本部経費）については、事務の一元化・効率化に必要な最低限を確保することとし、指定管理料の全てを有効な施設運営に充てることを目標として、抑制を図ります。

4 職員による日常管理の取組

植栽（主に中低木）は、職員がこまめに手入れすることで、専門業者への委託費用を抑えています。また、小破修繕や簡単な工作は、可能な限り職員が行うようにしていきます。

5 省エネ指針の作成と取組

施設の特性に応じ省エネルギーの取組をまとめた「省エネ指針」を作成し、それに基づき節水や消灯、温度管理などの取組をお客様の理解と協力をいただきながら進め、経費の削減を図ります。



啓発ポスター

8 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

■ 基本的な考え方

- 1 「利用者に安心・安全にご利用いただく」ことを最優先に、横浜市のガイドラインに沿って、適宜的確に新型コロナウイルス感染対策を講じながら運営していきます。
- 2 地域の活動拠点といった役割を引き続きになっていくため、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設の運営を目指していきます。
- 3 地域における「共助」の取組をバックアップし、健康かつ安心・安全で豊かな地域社会をつくり市民の自発的な活動を切れ目なく支援できるよう、従来の実績に加え、新たな発想を生かして取り組んでいきます。

■ 具体的な取組

1 具体的な感染防止対策

- (1) 出入口、窓は開放し、換気に努めます。
- (2) 出入口には、手を触れずに検温と消毒ができる機器を設置し、利用者の手指消毒と体温測定を実施しています。
- (3) 受付には、ビニールシートを張り、飛沫飛散防止に努めます。
- (4) トイレの個室それぞれにトイレトペーパーで簡単に除菌ができるクリーナーを設置しています。
- (5) 団体活動終了の部屋点検時には、使用されたテーブルインターホン、照明・換気扇のスイッチ、ドアノブマーカークラスの消毒を実施しています。
- (6) 職員は、出勤後検温し毎日記録しています。



2 コロナ禍における自主事業開催の工夫

- (1) シニア体操や、ヨガ等の運動系事業は、時間を短縮し参加人数を半数に減らし、少人数で開催しています。多くの参加希望者に対応するため、コースを増やして開催しています。
- (2) 座学の講座等は、3人掛けの机に1人で座っていただけるような人数設定で開催しています。
- (3) 入口に手を触れずに検温と消毒ができる機器を設置し、参加者の手指消毒と体温測定を実施しています。
- (4) 最低限人と人とが接触しない程度の間隔（目安1m）をとることで開催します。
- (5) 来館しなくても多くの方が自宅や他の地区センターで楽しめるオンライン自主事業を進めています。（コンサート等）

3 新型コロナウイルス感染症等の影響による利用料金収入減に対する対応策

- (1) 利用者ニーズに柔軟に対応した予約方法に変更します。
 - ・1週間枠での利用を個人（1名）でもご利用になれるようにします。
 - ・当日の空き室利用は1時間単位でもご利用になれます。
- (2) デジタルサイネージを活用した地域情報の発信により、新しい来館者を増やし、寄附などによる支援をお願いする（寄附金収入増）。
- (3) リモート発信やユーチューブの撮影場所としての部屋貸出を推進

4 感染防止の観点を踏まえた予約受付の提案

- (1) インターネット予約を促進していきます。
- (2) 利用料金は、利用当日の支払いを進めています。
- (3) 利用料金の支払いも、現金を扱わず利便性を深めるためキャッシュレス決済の導入を進めます。

5 インターネットを活用した情報発信の推進

地域の知識・経験が豊富な方を講師にした講座を開催し、操作方法や取扱いに不慣れな方を支援します。併せて、インターネットに不慣れな方に情報をお届けするため、自治会回覧等による紙媒体での情報提供も継続します。

横浜市奈良地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【施設協会コラボ】							
ファミリーコンサート 〈フィリアホール共催〉	一般	20,000	20,000	0	20,000	0	0
	70名						
	無料						
ピンクリボン パネル展示と触診体験	一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	無料						
青葉歴史探訪 ～地域に残る伝統行事～	一般	9,000	0	9,000	8,000	0	1,000
	6名(全館で30名)						
	1500円						
【地域連携】							
さわやかスポーツデー	子ども～大人	0	0	0	0	0	0
	50名						
	無料						
地域の交流サロン 「奈良でちゃちゃ」	一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	無料						
奈良ママ応援団イベント (プレママ向け)	親子	0	0	0	0	0	0
	20組						
	無料						
遠距離介護をきめたとき (地域ケアプラザ)	一般	6,000	0	6,000	6,000	0	0
	20名						
	300円						
お散歩広場出張です！ (地域ケアプラザ)	親子	0	0	0	0	0	0
	20組						
	無料						
伝統芸能 地区センターに 獅子舞がやってくる	子ども～大人	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	50名						
	無料						
ミニコンサート	一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	無料						
【健康広場】							
シニア健康体操 (A・Bコース)	60歳以上の男女	560,000	0	560,000	480,000	0	80,000
	80名×2コース						
	3500円						
シェイプアップ エアロビクス (前期・後期)	一般	300,000	0	300,000	250,000	0	50,000
	60名×2コース						
	2500円						
骨盤ストレッチ (前期・後期)	一般	300,000	0	300,000	250,000	0	50,000
	60名×2コース						
	2500円						

横浜市奈良地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
Yuriヨガ (前期・後期)	一般	300,000	0	300,000	250,000	0	50,000
	60名×2コース						
	2500円						
青葉を歩こうノルディック ウォーキング講座	一般	20,000	0	20,000	0	18,000	2,000
	20名						
	1000円						
【子育て支援】							
おはなしのくに (読み聞かせ)	親子	36,000	36,000	0	0	0	36,000
	定員なし						
	無料						
夏のおはなし会 ちょっとこわいお話	子ども～大人	1,000	1,000	0	0	0	1,000
	30名						
	無料						
【異世代交流】							
競技かるた体験会	子ども～一般	15,000	15,000	0	5,000	10,000	0
	8組						
	無料						
パワーコーラスマチサガ ファミリーコンサート	子ども～一般	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	定員なし						
	無料						
サクソフォン アンサンブル クリスマスコンサート	子ども～一般	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	定員なし						
	無料						
【生涯学習】							
夫婦で聞こう 遺言と相続の基礎知識	一般	3,000	0	3,000	3,000	0	0
	10組						
	300円						
夫婦で聞こう 終の棲家を考える	一般	3,000	0	3,000	3,000	0	0
	10組						
	300円						
50才からのマネープラン	一般	4,000	0	4,000	4,000	0	0
	20名						
	200円						
子育てママ向け マネー講座	一般	4,000	4,000	0	4,000	0	0
	20名						
	無料						

横浜市奈良地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
趣味・教養							
近所のカフェの店主に教えてもらう オシャレなカフェごはん	一般	15,000	0	15,000	5,000	10,000	0
	15名						
	1000円						
うれし美味しい奈良の味 田奈小麦で作るおやき	一般	15,000	0	15,000	10,000	5,000	0
	15名						
	1000円						
世界の郷土料理を召し上がれ 料理講座	一般	24,000	0	24,000	5,000	17,000	2,000
	16名						
	1500円						
珈琲ボランティア 養成講座	一般	30,000	0	30,000	15,000	12,000	3,000
	20名						
	1500円						
野菜ソムリエに教わる 料理講座	一般	15,000	0	15,000	5,000	8,000	2,000
	15名						
	1000円						
日本の伝統文化 お正月のお花	一般	30,000	0	30,000	15,000	12,000	3,000
	20名						
	1500円						
ニットカフェで会いましょう 編み物講座	一般	15,000	0	15,000	5,000	8,000	2,000
	15名						
	1000円						
部活を頑張る子どもの 心と成長について	一般	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	20名						
	無料						
【地区センターまつり】							
お茶席	子ども～大人	15,000	0	15,000	0	15,000	0
	50名						
	300円						
子どもお茶点で体験	子ども	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	20名						
	無料						

横浜市奈良地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【わんぱくホリデー】							
おもちゃの病院	小学生	6,000	0	6,000	6,000	0	0
	20名 無料						
はらぺこクラブ	小学生	1,000	0	1,000	0	1,000	0
	10名 100円						
母の日のおくりもの	小学生	8,000	3,000	5,000	5,000	2,000	1,000
	10名 500円						
どんどん和太鼓	小学生	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	10名 無料						
きらきらマジック	小学生	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	20組 無料						
ふわふわバルーン	小学生	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000	0
	10名 300円						
ちよきちよき工作	小学生	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	10名 無料						
地区センセタ	小学生	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	10名 無料						
バドミントン教室	小学生	11,000	8,000	3,000	6,000	5,000	0
	10名 300円						
卓球教室	小学生	10,000	0	10,000	5,000	5,000	0
	20名 500円						
茶道教室	小学生	6,000	1,000	5,000	3,000	3,000	0
	10名 500円						
寺子屋奈良 奈良の歴史を学ぼう	親子	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	10組 無料						
寺子屋奈良 オリンピック 国旗のお話	親子	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	20名 無料						

横浜市奈良地区センター自主事業計画書


(様式3)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会


事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地区センハロウィン	親子	6,000	6,000	0	0	6,000	0
	30組						
	無料						
寺子屋奈良 書初め教室	小学生	6,000	3,000	3,000	6,000	0	0
	10名						
	300円						
じゃがもちとさくらもちを 作ろう	小学生	6,000	1,000	5,000	3,000	3,000	0
	10名						
	500円						
地区センひなまつり	小学生	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	10名						
	無料						
将棋大会	小学生	5,000	5,000	0	3,000	2,000	0
	20名						
	無料						
合 計		1,855,000	150,000	1,705,000	1,420,000	152,000	283,000
【ニーズ対応】							
センターまつり	子ども～大人	150,000	ニーズ対応 費 150,000	0	0	0	150,000
	定員なし						
	無料						
合 計		150,000	ニーズ対応費 150,000	0	0	0	150,000


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設協会コラボ	横浜市民施設協会の管理運営施設の一つである、フィリアホールより 紹介していただいた アーティストの方をお招きして演奏会とトークショーを年1回開催します。	11月 1回
フィリアホール コラボ企画 ファミリーコンサート &トークショー	演奏はもとより、本格的に演奏活動している方の「楽器にまつわるお話」「音楽の楽しみ方」を直接伺えるまたとない機会となっております。参加者の皆様より絶大な賛辞を頂いている企画です。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設協会コラボ	かながわピンクリボン協会との共催で、乳がん撲滅のための啓発事業を、6館で1週間ずつ展開します。 お客様にもスタッフにも女性の多い施設であり、同時に、男性のお客様への啓発も行うことができます。	2月・3月 6回
ピンクリボン パネル展示と 触診体験	パネル展示や乳房模型でのしこり触診体験を通して、定期的な自己触診と乳がん検診受診の大切さをお伝えします。 また、ピンクリボンのピンバッジ・ストラップ等のチャリティー販売を通して、かながわピンクリボン協会の活動支援のための寄附とします。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設協会コラボ	横浜市民施設協会の管理運営施設5館で各1回開催します。 青葉区周辺に残る伝統行事を見学します。	9月～1月 5回
青葉歴史探訪 ～地域に残る 伝統行事～	保木薬師の里帰り・驚神社の例大祭・西光寺の火祭・市ヶ尾地藏堂お十夜法要・麻生不動院のだるま市・どんど焼き 等これらの行事を、各近隣施設に集合し、行事の背景を郷土歴史家から受講後、見学に出かけます。身近な場所に残る意外な伝統行事に、地域の歴史を感じる講座です。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	主催:奈良町連合自治会 共催:奈良地区スポーツ推進委員、奈良地区センター 協力:青葉区さわやかスポーツ普及委員会 横浜市スポーツ協会が行っている事業のひとつ、さわやかスポーツ普及委員会は、いつでもどこでも気軽にできる「ヨコハマさわやかスポーツ」の推進を行っています。	6月 1回
さわやか スポーツデー	当館では、平成25年度より開催しています。 「さわやかスポーツデー」を通じ、地域の方の健康作りや仲間作りの一端を担っています。	


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	主催:奈良地区社会福祉協議会 協力:奈良地域ケアプラザ、青葉区社会福祉協議会 奈良地区センター	毎月1回
地域の交流サロン「奈良でちゃちゃ」	当館の利用者交流会で参加者から、高齢者、特に高齢単身者は話し相手がないので、おしゃべりする場を設けて欲しい、との要望があり、当館と奈良地区社会福祉協議会、奈良地域ケアプラザ等の協働で、地域の交流サロン「奈良でちゃちゃ」を平成27年度より開催し、現在5年目を迎えました。毎月第1水曜日、9時30分～11時30分に開催。開催側と参加者側と一緒にお茶を飲みお話をし、楽しむことができ、地域の交流の場としてかかせない場所になっています。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域連携	主催:奈良地区センター 協力:奈良ママ応援団	通年 2回
奈良ママ応援団イベント(プレママ向け)	「お子さんが生まれてから地域デビューは、親も子も不慣れな中で大変だ」ということを知っている先輩ママさんからの提言に、奈良地区センターも賛同し、活動の場を提供できないかということで、計画したイベントです。妊産婦の方が、気軽に足を運べて、子どもがいる生活を実感してもらえそうな、地域の交流の場として今後発展させていきたいと考えています。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	主催:奈良地区センター 共催:奈良地域ケアプラザ 協力:あおばFPくらしの会	6月 1回
遠距離介護を決めたとき(地域ケアプラザ)	遠距離介護について知りたいとの声に応え、全4回連続講座で開催します。第1回 奈良の地域ケアプラザさんを講師にお招きし、老親を見守るポイントを学びます。第2回 遠距離介護にかかるお金について、青葉FPくらしの会様に講義をして頂きます。第3回 実際に遠距離介護をしていらっしゃる方のお話を伺います。第4回 遠距離介護について相談できる公的機関についてと 悩みを分かち合うネットワークを作り、心を休める場所作りにつなげます。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	主催:奈良地域ケアプラザ、 協力:奈良地区センター	毎月1回
お散歩広場出張です!(地域ケアプラザ)	毎月、奈良地域ケアプラザさんでは、入園前の親子が遊びに行ける場所として「お散歩広場」を開催しています。そこに奈良地区センターも加わることで、お互いの館の来館・イベント参加から訪問へつながる「きっかけ」にならないだろうか、との提案を受け 今後の地域の居場所作りのひとつとして、発展させていきたいと考えています。	


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	平成29年より、年始に相応しいイベントとして「地区センターに獅子舞がやってくる」を企画しています。近隣の長津田よりお越し頂いているお獅子とお囃子・ひよっこ・おかめの皆さんは、お正月らしいイベントとして近隣の方に認知されてきました。こんなに華やかで賑やかな獅子舞は見たことがない、と三世代揃ってお越しのお客様もおられ、大変喜ばれています。身近に日本の伝統文化を紹介するまたとない機会となっています。	通年 6回
伝統芸能 獅子舞が やってくる		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連携	当館近隣には、音楽に関心が高い方が多くいらっしゃいます。自主事業として、年に3~4回開催しているコンサートは、毎回満席になるほどです。もっと気軽に、音楽を演奏したい方、演奏を聴きたいを求める方双方のために、会場費無料・参加費無料のミニコンサートを開催しています。会場は、眺めの良い2階の娯楽コーナーで開放的な気分が味わえます。サークル活動の発表の場として、個人の音楽活動の腕試しの場として活用していただき、地域の交流の場を提供します。	通年 6回
ミニコンサート		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	開館当時より行っている人気事業です。参加者が増えたため、同日に同内容で2コース開催しています。平成27年度より、名称を高齢者健康体操からシニア健康体操と改めました。体操、ストレッチ、太極拳、ダンス等、様々なジャンルの運動で工夫を凝らした内容となっています。高齢化社会となった今、健康を維持することは本人の幸福に寄与するだけでなく、家族の安定や福祉行政及び医療費の削減に貢献できます。シニア健康体操は、身体を動かす習慣が身に付くというだけでなく、1人暮らしの高齢者の交流の場としても役立っています。	通年 33回
シニア健康体操 (A・Bコース)		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康	人気の初心者向けのエアロビクスの講座です。前期と後期、それぞれ15回ずつ開催しています。全15回なので、最初はゆっくりと簡単な動きですが、回を重ねるごとに少しずつ難しい動きへと移っていきます。音楽のリズムに乗って、たっぷりと気持ち良い汗をかくことができます。最後の15分間はクールダウンでストレッチやヨガなども取り入れています。継続的に参加している方も多く、地域の健康維持、交流の場ともなっています。	4月~9月 15回 10月~3月 15回
シェイプアップ エアロビクス (前期・後期)		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康		4月～9月 15回 10月～3月 15回
骨盤ストレッチ (前期・後期)	<p>初心者向けの骨盤ストレッチの講座です。前期と後期、それぞれ15回ずつ開催しています。</p> <p>ヨガマットを用い、安定した態勢で体を順番に動かす事で、自分の体の調子を自覚し、「無理をしない」事が学べる講座です。</p> <p>講座名のとおり、骨・筋肉を意識し、ストレッチを丁寧に行う事で、とても気持ちよくなりリラックスできると毎回大人気で、幅広い年齢層の方が参加されていますが、参加希望者が大変多く抽選となっています。</p> <p>継続的に参加している方も多く、地域の方の健康維持・増進のためだけでなく、交流の場ともなっています。</p>	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康		4月～7月 12回 9月～3月 21回
Yuriヨガ (前期・後期)	<p>ヨガのポーズと動きで自分自身の体の隅々まで意識し、腹式呼吸で良い気を体に取り入れ、内臓を鍛えます。元気に笑顔で過ごせる身体作りを目的としています。</p> <p>健康系の講座は午前ばかりだったので、平成30年度より午後の時間帯で参加していただけるように設定しました。徐々に認知され、参加者は毎回増えています。</p>	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康		10月 5回
青葉を歩こう ノルディック ウォーキング講座	<p>当館と同じ管理運営施設の一つで山内地区センターで人気の講座を、ぜひ風光明媚な奈良地域でもやってみよう計画しました。</p> <p>ノルディックウォーキングとは2本のポールを使ってウォーキングする「直立4足歩行」。あまり使わない腕や肩など上半身の筋肉が稼動してトレーニング効果が高まり、酸素消費量が20%～40%増加し、心拍数が上がりますが、本人はそれを自覚しないほど楽なスポーツです。正しい歩き方を学び、近隣を実際に1時間半から2時間ほど歩いてみる講座です。この講座期間は道具を貸してもらえるので、気軽に参加できます。</p>	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援		通年 23回
おはなしのくに (読み聞かせ)	<p>自主事業からサークル化した団体「おはなしのくに」による読み聞かせの会です。</p> <p>読み聞かせの他、手遊びや紙芝居、パネルシアターなど工夫を凝らした内容となっています。幼児対象と小学生対象の日を分けて開催しており、子ども達は毎月楽しみに集まります。普段、テレビを見たりゲームをすることが多い子ども達に向け、語り手が熱く語り掛け、参加した子ども達は耳を澄して想像力を働かせながら、お話の世界に引き込まれていきます。</p>	


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援	読み聞かせサークル「おはなしのくに」による、夏の風物詩「ちよつとこわいお話」です。	7月 1回
夏のおはなし会 ちよつとこわいお話	毎年とても人気で、会場は子ども達の熱気が充満します。会場の窓に暗幕を張り、いつもとは違う雰囲気の中、怖い話が始まります。語り手が声で演じる語りだけでなく、パネルシアターなど工夫を凝らした内容となっています。演目も毎年選りすぐったもので、子ども達の好奇心を掻き立てます。ゲームをすることが多い子ども達にとって、目の前で繰り広げられる貴重な体験を今後も続けて行きたいと考えています。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
異世代交流	平成30年度より始まった、年1回の「百人一首 競技かるた体験会」です。指導は青葉6大学連携校として 國學院大學かるた会の学生の皆さんがいらして指導していただきます。	通年 毎月1回
競技かるた体験会	近隣の中学校では「百人一首の校内大会」がある関係で、大会前の腕試しとして参加されるお子さんも多く、どの方も熱心です。本格的に競技かるたをされている学生の方の技を間近で見ることができ、又、対戦もできるということで大変盛り上がります。子どもからご年配の方まで幅広い年齢層の方が参加されています。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
異世代交流	毎年大人気のパワーコーラスマチサガ!さんのコンサート。ゴスペルのスピリッツで力のある歌声を聞かせて頂き、参加者の皆さんからは「元気を貰える」と大好評です。	7月 1回
パワーコーラス マチサガ! コンサート	ここ数年クリスマスコンサートとして開催してまいりましたが、違う季節で聞いてみたいと何人かのお客様よりリクエストを頂きました。夏休みに開催し、ぜひお子さんたちにも聞いてもらいたいと計画しました。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
異世代交流	平成24年度より、毎年出演していただいている、当館利用のサクソスのサークルによる、クリスマスコンサートです。	通年 毎月1回
サクソフォン アンサンブル クリスマス コンサート	最初は全員子育て中の母親でしたが、成長され、今では他県や夜の演奏会にも呼ばれ出演されています。回を重ねるごとに、演奏内容が充実しており、聴き応えのあるコンサートです。コンサート会場に足を運びにくい小さな子どもからご高齢の方まで、目の前で演奏される迫力あるサクソスの四重奏を、華やかなクリスマス気分とともに味わっていただきたいと思っております。	


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習	司法書士を講師に招いた学習講座です。 遺言がないと全財産を全法廷相続人で共有することになります。親の面倒を看ようが看まいが、家を継ごうが継ぐまいが関係なく法定相続分が発生し、相続争いが発生することになります。そうならないために、遺言を残すことが大切になります。まずは夫婦で聞き、遺言を書くにあたり注意する点を抑え、遺言作りを進めます。自分や家族を守るために大切な遺言の書き方を学ぶ学習講座です。	7月 1回
夫婦で聞こう 遺言と相続の 基礎知識		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習	「人生の終末期を自宅で過ごしたい」という気持ちはあるけれど、頼りの子どもは忙しく、夫婦二人で果たして実現できるのか。施設に入るにしても、先ずどこに相談すれば良いのかを、青葉区の実情をよくご存じのファイナンシャルプランナーに教えて頂きます。具体例を交え、施設の見方を教えて頂くまたとない機会です。	7月 1回
夫婦で聞こう 終の棲家を考える		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習	貰う頃に考えるのでは遅い昨今の年金事情。働き盛りだからこそ、知っておくべきマネープラン講座です。ここ数年どんどん変わる年金事情について学び、これからの生活について見直すきっかけになる講座です。	9月 1回
50歳からの マネープラン		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習	ファイナンシャルプランナーを講師に招いた学習講座です。出費がどんどん増える子育て中の母親を対象とした講座です。将来の夢や希望、生き方、理想の暮らし、家族の人生設計を具現化し、いつまでにいくら必要なのかマネープランを表にして収支を明らかにします。その上で、マネープランに沿った資産作りを考え、運用を考えます。運用を行うにあたり、金融商品には様々なタイプがあり、様々なリスクがあるので、リスクを減らすための方法も学びます。	10月 1回
子育てママ向け マネー講座		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	近隣に店舗をお持ちの店主による料理講座です。 家にお客様をお招きしたくなるような、おしゃれなカフェごはんを教わります。	4月 1回
近所のカフェの 店主に教えてもらう おしゃれな カフェごはん		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	地元にお住いの、ふるさとの生活技術指導士の方に「おやき」を教わります。地元の野菜をたっぷり使ったあんを、地元の田奈小麦で作った皮で包んで焼きます。この辺りが開発される前の話や野菜にまつわるお話を伺い、子どもに残していきたい郷土料理として学ぶ講座です。	4月 1回
うれし美味しい 奈良の味 田奈小麦で 作るおやき		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	当館で長らくサークル活動をされている方を講師にお招きし、世界の郷土料理について学ぶ講座です。シリーズ化して最初は米国料理・スペイン料理・オランダ料理と世界の食文化とともに学んできました。今後はロシア料理・イタリア料理を開催する予定です。	10月 1回
世界の郷土料理 を召し上がれ！ 料理講座		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	ハンドドリップで入れる、コーヒーの美味しい入れ方を学び、奈良地区センターのイベントに出店することで、長くボランティア活動の場となるような講座とします。	6月 4回
珈琲ボランティア 養成講座		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	当館利用サークルの野菜ソムリエの資格をお持ちの講師による料理講座です。地元の農家の収穫のお手伝いをされており、野菜に関する知識と旬の野菜を手軽に取り入れられるメニューを提案していただいています。	5月・9月・1月 3回
野菜ソムリエに教わる料理講座		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	フラワーアレンジメントは、女性にとっても人気です。今年度は、お正月のアレンジメントも制作します。フラワーアレンジの素材としては普段使わない竹や松を使用し、お正月らしい雰囲気を出したアレンジメントです。小さなお正月の小物を添えて、ぐっとお正月らしさを表現します。慌ただしい年末の時期ですが、手作りを楽しみ、お正月のフラワーアレンジメントを部屋に飾り、清々しい新年を迎えて頂きたいと思えます。	12月 1回
日本の伝統文化 お正月のお花		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	当館利用の編み物サークルの先生を講師をお迎えする講座です。	9月～10月 5回
ニットカフェで 会いましょう 編み物講座		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味・教養	日体大の准教授を講師にお迎えし、最近のスポーツ事情と子どもの成長について知る講座です。昨今の練習のし過ぎによる体の異変、鉄剤の摂取による女子の成長阻害等詳しくお話いただきます。	3月 1回
部活を頑張る 子どもの 心と成長について		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地区センターまつり	<p>当館利用サークルによるお茶席です。 当館のお祭りには欠かせない催しとなっています。 和室前に立礼棚と傘を配置し、皆様にお茶席の気分を味わっていただきます。 敷居が高いと感じられ、なかなか体験することのできないお茶席を、身近な当館でどなたでも味わうことができます。 生菓子も付いており、お茶もお菓子も美味しいと、皆様に大変喜んでいただいております。 今後も、日本文化に触れられる催しを続けて行きたいと思えます。</p>	11月 1回
お茶席		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
地区センターまつり	<p>当館利用サークルによるお茶席を発展させ、平成25年度より行っている、子どものお茶点て体験です。 お茶を点てる機会はなかなかありません。日本の文化に触れられる体験を、当館センターまつりで子ども向けに開催しています。 講師より、お茶室の作りや道具の意味、道具の使い方、お作法などを教わり、二人ひと組になり、お茶を点てる側、お茶を頂く側の両方を交互に体験します。 日常とは異なる空間で、少し緊張しながら日本文化に触れることができます。このような機会を今後も続けて行きたいと思えます。</p>	11月 1回
子どもお茶立て体験		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱくホリデー	<p>横浜北部おもちゃドクターの会のドクターが、おもちゃの修理をさせていただきます。基本的に無料ですが、特殊な部品を使った場合には実費負担になります。また、時間を要するおもちゃは入院(後日お渡し)の場合があります。ICが使用されたおもちゃで、ICが壊れている場合は修理の対象になりません。 物があふれているこの世の中で、壊れても直して大事に使用するという物を大切に作る心を育むだけでなく、親子で修理されていく過程を見学することにより、おもちゃの内部の作りにも興味を持ち、未来の科学者を育てる手伝いにもなっています。 広報だけでなく、近隣の小学校、保育園にもチラシを配り、声をかけています。</p>	5月 1回
おもちゃの病院		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	<p>子どもの自立と食育を目指し、開講した講座。毎回大変人気の講座です。当館スタッフが先生を担当し、レンジやオーブントースターを使って手軽にできるおやつ作りを学びます。令和元年度より、当館利用の男性料理サークルのメンバーがボランティアでサポートに加わり、異世代交流の場ともなっています。</p>	4月～3月 各月1回(夏は休止)
はらぺこクラブ		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱくホリデー	母の日のプレゼントとして生花のアレンジメント 器から作る講座です。	5月 1回
母の日の贈り物	同じ材料を使っても、それぞれの子どもの個性で違うものができあがります。最後にお母さんへのメッセージを書きますが、その文章に毎回 ほろりとさせられます。素敵な作品ができあがり、親も子も大満足の講座です。	


事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱくホリデー	奈良の地域の伝統芸能、住吉神社のおはやしを、地域のボランティアの方のご指導で体験します。地域の伝統を子どもたちに伝えていくのは、地域にとって重要なことと考えます。	8月 1回
どんどん和太鼓	夏休みから始め、9月、10月と、計4回の練習で、おはやしの基礎を学び、地区センターまつりの舞台で発表出来るように練習します。 昨年、一昨年は、和太鼓教室を開き、たくさんの受講者がいましたが、おはやし体験にもたくさんの受講希望者が集まることと思います。舞台上で発表し大勢の観客に観てもらい、達成感、充実感を味わうことでしょう。70代の講師の方との世代を超えての交流、小学生同士の学年を超えての交流が期待できます。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	身近な ゴムや大判ハンカチを使っ手品ができるようになる、講座です。	9月 1回
きらきらマジック		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	細長いバルーンを曲げたりねじったりしながらバルーンで犬やウサギ、お花を作ります。組み合わせたら大きなものが作れるところが、新鮮な驚きを呼びます。最初は「バルーンが割れるかも」とおっかなびっくり触っていた子どもが、次第に慣れ、大胆に遊びながらバルーン作りができる講座です。何でもチャレンジしたい子どもの気持ちを大事にしています。	10月 1回
ふわふわバルーン		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	平面である紙に折り目を付け、切込みを入れて細工をほどこしていくと、飛び出す立体的なカードが完成します。シールやマスキングテープで工夫をし、デコレーションして素敵なカードを作ります。	11月 1回
ちよきちよき工作		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	近隣にお住まいの方が、毎年笹竹を寄付して下さいます。短冊に子供たちが願いを書いて 住吉神社に奉納します。	7月 1回
地区センター 七夕		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱくホリデー	奈良地区センターを利用している玉川大学のバドミントンサークルの方々が講師になります。	8月 1回
バドミントン教室	2時間の中の進め方は、事前に大学生に計画をたててもらい、当館と話し合いを持ち、決めていきます。ケガのないように行うには、小学生にうちとけてもらうには・・・と、教職志望の大学生にとっても社会に出る前の勉強の場になっています。 準備運動、サーブ・レシーブの基礎から体験します。また、大学生達の実践的な試合も見学したあと、男女別、あるいは学年別に試合をします。また、皆で後片付けすることで、センターを利用するうえでのマナーも学びます。	


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	奈良地区センターを利用している地域の卓球サークルの方々が、小学3年生以上を対象に、素振りから試合まで全般に指導してくれます。学年を基準にグループ毎に分かれ、準備体操から素振り、試合までを習得します。グループ対抗戦の試合は、異年齢の学年でグループを3つに分け、高学年の者がリードしながら低学年を引っ張っていくような、協調性を育みます。学年を超え連帯感が生まれます。	7月 3回
卓球教室	また、卓球の技術だけでなく、挨拶等基本的な礼儀も身につけ、受講後の片付けもグループ毎に担当し、好ましい社会性を育みます。講師の方々は、20代～60代と幅が広く、年齢を超えた交流が持たれています。	


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	ふすまの締め方、畳の歩き方から学びます。	12月 2回
茶道教室		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	自分の住んでいる奈良の町について、学ぶ講座。親も住んでいながら歴史は知らないなので、これを機会に一緒に聞いてみる講座です。	7月 1回
寺子屋奈良 奈良の歴史を学ぼう		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	オリンピック開催に向けて 国旗を通じ、その国の歴史と文化を学ぶ	7月 1回
寺子屋奈良 オリンピック 国旗のお話		


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	近隣施設と奈良北商店街と共催イベント。今年で2回目。一昨年は近隣をめぐるスタンプラリーが大好評で、初めて地区センターを訪れた親子さんが何組もいらっしゃいました。	10月 1回
地区セン ハロウィン		


横浜市奈良地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	近隣にお住いの方を講師をお招きし、書初めを仕上げる講座です。	12月 2回
寺子屋奈良 書初め教室		 A photograph showing a calligraphy workshop in progress. Several people are seated at tables, practicing writing on scrolls. A large calligraphy scroll is visible in the foreground.

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	近隣にお住いの農家の方より、伝統食を学ぶ講座です。昔のこどものおやつの話、食事の話を聞ききながら、自分でおやつが作れる体験講座です。食育の場、異世代間交流の場にもなっています。	2月 1回
じゃがもちとさくらもちを作る		 A photograph showing several pieces of sweet potato mochi (sake mochi) in a white tray. The mochi are pinkish-red and have a soft, sticky texture.

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	身近なものを使ってひな人形を作ります。昔ながらの伝統行事を教わります。	2月 1回
地区セン ひなまつり		 A photograph of a set of traditional Japanese Hina dolls (hina-dolls) arranged on a red and white tiered stand. The dolls are colorful and represent various figures from the Heian period.

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱくホリデー	毎年3月に小学生の将棋大会を行っています。	3月 1回
将棋大会		 A photograph showing a group of children and adults standing together, holding certificates or awards. They are dressed in casual clothing, and the setting appears to be an indoor event space.

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市奈良地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提 案 額 (a)	34,850	指定管理料提案額=小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	34,850	
差 引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,442	
自主事業収入 [B]	2,392	
雑入 [C]	827	
小 計 【ア】 ([A]~[C])	6,661	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	33,703	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,147	[A] × 1/3
小 計 【イ】 ([D]~[E])	34,850	指定管理料の計
収入合計 ([ア] + 【イ])	41,511	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	21,450	
事務費 [b]	1,830	
自主事業費 [c]	2,574	
管理費A（光熱水費等） [d]	6,362	
管理費B（保守管理費等） [e]	3,532	
公租公課 [f]	2,449	
事務経費 [g]	2,167	
小 計 【ウ】 ([a]~[g])	40,364	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,147	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,147	ニーズ対応費の計
支出合計 ([ウ] + 【エ])	41,511	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※現在の消費税及び地方消費税は10%ですが、現段階では利用料金は据え置き（消費税及び地方消費税5%の内税）としてい
ます。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市奈良地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳（指定管理料除く）

（単位：千円）

	項 目	内 容 等	金 額		
利用料金収入	部屋利用料金	令和元年度実績（3月分は平成30年度）×コロナによる影響（△12%）×努力目標（10%アップ）	ア	3442	
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
			カ		
			キ		
			ク		
		小 計		[A]	3,442
自主事業収入			コ	2392	
			サ		
			シ		
			ス		
			セ		
	小 計		[B]	2392	コ～セ
雑入	印刷代		ソ	128	
	自動販売機手数料		タ	695	
	その他	寄附金、利子、古紙	チ	4	
			ツ		
			テ		
			ト		
		小 計		[C]	827

小 計 【ア】	施設運営収入計	6,661	[A]～[C]
---------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。
 ※利用料金収入については、現段階で据え置かれている利用料金（消費税及び地方消費税5%の内税）から見込んだ額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市奈良地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	正規雇用職員		ア 10,904	
	臨時雇用職員		イ 10,293	
	対象外の人件費		ウ 253	ウ-1～ウ-4
	通勤手当		ウ-1 107	
	健康診断費		ウ-2 26	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3 0	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4 120	
	小 計		[a] 21,450	ア～ウ
事務費	旅費		エ 24	
	消耗品費		オ 750	
	会議滞在費		カ 10	
	印刷製本費		キ 10	
	通信費		ク 200	
	使用料及び賃借料		ケ 44	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1 22	
	その他		ケ-2 22	
	備品購入費		コ 100	
	図書購入費		サ 150	
	施設賠償責任保険		シ 24	
	職員等研修費		ス 10	
	振込手数料		セ 48	
	リース料		ソ 307	
	手数料		タ 150	
	地域協力費		チ 3	
			ツ	
			テ	
小 計		[b] 1,830	エ～テ	
自主事業費		[c] 2,574		
管理費 A	電気料金		ト 3,288	
	ガス料金		ナ 2,118	
	上下水道料金		ニ 956	
	小 計		[d] 6,362	ト～ニ
管理費 B	清掃費		ヌ 528	
	修繕費		ネ 500	
	機械警備費		ノ 1,332	
	設備保全費		ハ 2,372	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 1,060	
	消防設備保守		ハ-2 76	
	電気設備保守		ハ-3 636	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4 0	
	駐車場設備保全費		ハ-5 0	
	その他保全費		ハ-6 600	
共益費		ヒ 0		
		フ		
		ヘ		
小 計		[e] 3,532	ヌ～ヘ	
公租公課	事業所税		ホ 0	
	消費税		マ 2,449	
	印紙税		ミ 0	
	その他 ()		ム	
	小 計		[f] 2,449	ホ～ム
事務経費	本部分		メ 108	
	当該施設分		モ 2,059	
	小 計		[g] 2,167	メ～モ
小 計 【ウ】	施設管理運営経費計		40,364	[a]～[g]

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

経営方針

1. 地域と積極的に連携して、生き生きとした暮らしや活力ある地域社会の実現を図ります。
2. 利用者や地域のニーズに真摯に対応し、満足度の高いサービスを追求めます。
3. 公共性と公益性を基本とし、公平、コンプライアンス、透明性を確保した施設経営を進めます。
4. 様々な施設間の連携を密にし、サービス向上など相乗効果を発揮した経営を進めます。



あゆみ

- | | |
|-----------|---|
| 平成 7年 3月 | 「青葉区区民利用施設協会」(前身団体)設立
青葉区内の区民利用施設の管理運営開始 |
| 平成 18年 4月 | 指定管理者として6指定管理施設の管理運営開始 |
| 平成 22年 4月 | 「一般社団法人青葉区区民利用施設協会」設立
前身団体を引継ぎ法人組織として活動するため設立 |
| 平成 23年 4月 | 新法人として6指定管理施設と7受託施設の管理運営開始 |
| 平成 25年 4月 | 共同事業体指定管理者として青葉区民文化センター・
フィリアホールの管理運営開始 |
| 平成 26年 2月 | 「公益社団法人横浜市民施設協会」に法人名変更 |
| 平成 28年 4月 | 8指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営 |
| 令和元年 5月 | 荏田コミュニティハウスの管理運営開始
9指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営 |



組織概要

組織名称	公益社団法人横浜市民施設協会
所在地	〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-9-22-302
連絡先	TEL : 045-482-9572 FAX : 045-482-9573
法人設立	平成 22年 4月
公益認定	平成 26年 2月
代表者	代表理事 松澤孝郎
役職員数	社員 21名 (うち、理事7名、監事3名) 職員 156名 (常勤職員 26名 時給職員 130名)

特色

1. 運営体制

施設運営のノウハウの蓄積があり、接遇・人権・危機管理研修の実施等により、適切な管理運営体制を確立しています。

- 施設毎の緊急時マニュアル
- 非常時用品の備蓄
- オリジナル「接遇ハンドブック」

face to face で、地域密着型のアットホームな人間関係を築いています。スタッフは全員、施設近隣の住民です。

2. 自主事業

地域のニーズを把握して、年齢・性別に偏らず、教養・工芸・音楽・料理・スポーツなど、広範にわたりバランスの良い事業を展開しています。年間事業数約 500 講座 (開催回数 800 回)。

延参加者数 58,000 人。

- *子育て支援講座
- *小中学生対象のわんぱくホリデー講座
- *チャリティーコンサート・バザー・ピンクリボン啓発活動等
社会貢献事業
- *複数館でのコラボ企画 (青葉歴史探訪等)

3. 地区センターの部屋予約

協会独自で開発した部屋予約システム“さ～くるデータ”にご登録いただくことで、当協会指定管理の4地区センターをご利用いただけます。また、ご予約には、窓口・電話のほかWebもご利用いただけます。



日頃から、当協会が運営する地区センター・コミュニティハウス等をご利用いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、「公の施設」の管理運営を通じて、地域の皆様が、気軽に趣味やスポーツ、学習などのサークル活動により、生き生きとした潤いのある時間を過ごしていただくことで、「健康で活力のある暮らしづくり」、「ふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成」のお手伝いすることが使命であると考えています。

地域交流の輪づくりに少しでもお役に立ちたい。今日ここで出会えたことがいい思い出になってほしい。日々そう願って、皆様のお越しをお待ちしております。

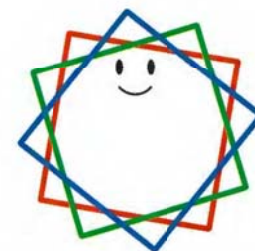
職員一同

公益社団法人 横浜市民施設協会

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-9-22-302
TEL:045-482-9572 FAX:045-482-9573



横浜市民施設協会



あつまる・つながる・笑顔になる

